

ボランティアに関する授業科目又は
ボランティアを取り入れた授業科目一覧

【Ⅲ.高等専門学校】

国立・高等専門学校

○ 呉工業高等専門学校

授業科目名	キャリア開発セミナーⅠ		
担当教員（学内又は学外）	学内教員、学外教員	授業期間	半期
担当教員の専門分野	工学・教育学等	共通・専門等の別	専門
開設学部（学科）及び年次	機械工学科、電気情報工学科、環境都市工学科、建築学科4・5年次対象	授業のレベル	上級
平成20年度履修者数	計12名（男子学生9名 女子学生3名）	授業区分	講義、演習、実習
単位数	1	ボランティア体験の時間数	10時間
必修・選択の別	選択		
授業目的	卒業後に社会で活躍するには、専門的知識以外に、行動力、コミュニケーション力、リーダーシップなどの総合的な能力である人間力が必要である。地域貢献活動に必要な能力、社会人として必要な知識および能力を、そのエキスパートである非常勤講師による講義、ワークショップ、地域実践活動（テーチャングアシスタントや擬似起業体験など）を通じて養成する。なお、地域実践活動は地域ボランティア活動を行う「地域ボランティアコース」と擬似起業および擬似経営を行う「起業コース」に分かれて行う。		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス（授業の目指していること） 2. 活動に必要な能力、社会人として必要な能力を理解する 3. 地域ボランティア、または擬似起業体験の実践を行う <ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアコース：阿賀地域の問題点やニーズを把握し、それらを解決するための活動を実践する。 なお、適宜地域ボランティアに関する講義を受け、活動につなげる。 ・起業コース：キャリア開発セミナーⅠでの擬似企業経営を継続する。 4. 実践活動をまとめ、次のアクションにつながるチェックを行う 5. ゲームによる気づき 6. 実践活動の意義を理解し活動内容を取りまとめる 7. とりまとめた内容を発表し、他の活動も理解する 8. 実践活動の意義をお広く周知し地域に還元する 9. 人間力育成を踏まえたキャリア開発を体得する 		
教科書	なし		
授業の工夫点	ワークショップ、ロジカルシンキング、地域支援の実践、地域支援プランコンテスト、プレゼンテーション		
授業の評価方法	講義の出席、講義での演習の評価、実践活動の態度、レポート、実践報告会による成果報告書		
授業のサポート体制	客員教授3名、外部講師、ファミリーテーターとしての専攻科生		
学外の関係機関・団体との連携	阿賀学園地域教育連携協議会（アガデミア）		
今後の授業の継続	今後も継続		

授業科目名	キャリア開発セミナーⅠ		
担当教員（学内又は学外）	学内教員、学外教員	授業期間	半期
担当教員の専門分野	工学・教育学等	共通・専門等の別	専門
開設学部（学科）及び年次	機械工学科、電気情報工学科、環境都市工学科、建築学科4・5年次対象	授業のレベル	上級
平成20年度履修者数	計12名（男子学生9名 女子学生3名）	授業区分	講義、演習、実習
単位数	1	ボランティア体験の時間数	10時間
必修・選択の別	選択		
授業目的	卒業後に社会で活躍するには、専門的知識以外に、行動力、コミュニケーション力、リーダーシップなどの総合的な能力である人間力が必要である。地域貢献活動に必要な能力、社会人として必要な知識および能力を、そのエキスパートである非常勤講師による講義、ワークショップ、地域実践活動（テーチャングアシスタントや擬似起業体験など）を通じて養成する。なお、地域実践活動は地域ボランティア活動を行う「地域ボランティアコース」と擬似起業および擬似経営を行う「起業コース」に分かれて行う。		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス（授業の目指していること） 2. 活動に必要な能力、社会人として必要な能力を理解する 3. 地域ボランティア、または擬似起業体験の実践を行う <ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアコース：阿賀地域の問題点やニーズを把握し、それらを解決するための活動を実践する。 なお、適宜地域ボランティアに関する講義を受け、活動につなげる。 ・起業コース：キャリア開発セミナーⅠでの擬似企業経営を継続する。 4. 実践活動をまとめ、次のアクションにつながるチェックを行う 5. ゲームによる気づき 6. 実践活動の意義を理解し活動内容を取りまとめる 7. とりまとめた内容を発表し、他の活動も理解する 8. 実践活動の意義をお広く周知し地域に還元する 9. 人間力育成を踏まえたキャリア開発を体得する 		
教科書	なし		
授業の工夫点	ワークショップ、ロジカルシンキング、地域支援の実践、地域支援プランコンテスト、プレゼンテーション		
授業の評価方法	講義の出席、講義での演習の評価、実践活動の態度、レポート、実践報告会による成果報告書		
授業のサポート体制	客員教授3名、外部講師、ファミリーテーターとしての専攻科生		
学外の関係機関・団体との連携	阿賀学園地域教育連携協議会（アガデミア）		
今後の授業の継続	今後も継続		

○ 大島商船高等専門学校

授業科目名	ボランティア		
担当教員(学内又は学外)	学内教員	授業期間	半期
担当教員の専門分野	保健・体育	共通・専門等の別	共通
開設学部(学科)及び年次	専攻科1年次	授業のレベル	初級・入門
平成20年度履修者数	計11名(男子学生8名 女子学生3名)	授業区分	講義、実習
単位数	1	ボランティア体験の時間数	45時間
必修・選択の別	選択		
授業目的	学内外におけるボランティア活動を実施体験することで、総合的視野を持った人材を育成することを目的とした。		
授業内容	<p>科目の位置付け、教育内容・方法本校の「豊かな教養と国際感覚を身につけた、視野の広い技術者を育成する」という教育目標からも学校外の地域社会でボランティア活動を経験することで広い視野と豊かな人間性を身につけることができる。周防大島町内での活動を基本に年間通算一週間程度のボランティア活動を実施する。具体的な内容は、受け入れ先の都合(時期・期間・人数など)により柔軟に対応する。授業計画実施内容の例 ①「サザン・セト大島少年サッカー大会」の運営補助スタッフ ②「サザン・セト大島ロードレース大会」の運営補助スタッフ ③「大島郡フットサル大会」の運営補助スタッフ ④「大島一周駅伝競走大会」の運営補助スタッフ ⑤「周防大島町屋代湖駅伝大会」の運営補助スタッフその他、要望があれば以下の活動も実施 ⑥「周防大島少年の船洋上セミナー」のアシスタント⑦IT講習会での講師またはアシスタント ⑧総合的な学習時間でのアシスタント ⑨訪問看護職員のアシスタント ⑩老人福祉施設等での介護アシスタント 達成目標地域社会でのボランティア活動を経験することで、人と人が協力し合うことの大切さや自らが地域社会の輪の中にいるのだということを認識し理解することを達成目標とする。</p>		
教科書			
授業の工夫点	授業では、講義にとどまらず、レポート提出・発表をする。実習についても内容・成果・感想などのレポートを提出する。		
授業の評価方法	ボランティア活動実施中の日誌および実施後のレポートで50点、ボランティア活動実施先の担当者評価を50点とし合計して総合評価する。		
授業のサポート体制			
学外の関係機関・団体との連携	周防大島町の教育委員会・大島郡のサッカー協会と連携を取り合って実習等を実施している。		
今後の授業の継続	今後も継続		